

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サポートセンター空にしなの (児発)		公表日		2026年 3月 19日	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点	
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	人数や活動によってはホールを使用したり、ドアを開けて部屋を広くしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	利用者の状況に合わせて職員配置をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	事業所内はバリアフリー化されており、蛇口の種類が複数あるなど、特性に応じて使用できるようになっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	朝、昼、夕と換気をし、清掃を行っています。使用した物、場所は毎回消毒を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	ホールや静養室をいつでも使用できるようになっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	月1回の会議には職員が参加し、意識付けを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年1回実施して職員で共有しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	意見があるときにいつでも言うことができる環境、言いやすい人間関係を築いています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	外部評価は、形ややり方を含め今後検討していきます。今後の課題です。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	施設内研修を積極的に行っていきます。また、外部研修には多数参加しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	作成した支援プログラムをホームページで公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	保護者からの聞き取りをし作成をしています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	こどもの支援にかかわる職員でケース会議を行い、課題を話し合い支援計画書の作成を行っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	個別支援計画書に沿った支援を職員間で共有し、行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	利用児の実態や課題が分かり易い物を使用しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	個別支援計画書を作成の際には、個人の障害特性や家族の意向を汲み、本人・保護者の希望に沿うよう、協力関係機関との連携を心がけて作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員が毎月ローテーションで月案を作り、職員みんなで活動プログラムを考えています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	同じ活動の中でも、利用時の年齢、興味、特性に合わせたプログラムをその都度考えています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	利用児や活動によっては個別活動と集団活動を組み合わせ、計画書を作成しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	療育前に利用者確認、活動内容、担当、支援方法を確認しています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	5	0	支援終了後に利用者状況を共有したり、支援や利用児の振り返りをし、これからの支援につなげています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎日支援の内容、課題・改善点等を記録しています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年ごとに保護者とのモニタリングを行い、計画書の見直し、目標設定を行っています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	担当者会議には、児発管や担当職員が参加しています。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要に応じて連携し、支援の向上に努めています。		
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	相談支援専門員と連携し、情報共有できる場を設けたり、直接支援内容等の情報を伝えています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	サービス担当者会議で情報共有を行っています。		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。						
	(31は、事業所のみ回答)						
					定期的に連絡を取り合い、連携を図っています。		

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	5	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	療育内の散歩で、近くの保育園へ訪問したり、幼稚園、保育園の行事を見学しに行っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や、連絡帳などで伝え合い、必要に応じて面談、モニタリングを行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	令和7年度はペアレントプログラムやOT講習会を実施しました。	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明を行い承諾を頂いています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	保護者からの聞き取りをし、事業所内のケース会議で課題を話し合い支援計画書の作成を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	丁寧な説明を心がけています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談があった際は面談をしています。寄り添った助言と支援を心掛けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	保護者会、夏祭り、運動会、親子MTを開催し、家族みんなで楽しめるイベントを開催し、その中で保護者同士の交流、きょうだい同士の交流の機会を設けました。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談があったときには迅速に対応できるよう心掛け、相談内容に応じて適切な職員で面談を行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月連絡アプリでお便りを発行したり、毎日コドモンで情報を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	法人内の個人情報保護規定に沿って対応しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	丁寧で分かりやすい表現で伝えるように心がけています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	地域のイベントに積極的に参加しています。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	すべてのマニュアルを策定し、職員間で共有しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	毎月火災、地震、不審者侵入を想定した避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に確認を行い、書面で保管するほか、定期的に保護者と状況確認をしながら職員間で共有をしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	対象児がいる場合は保護者を通じ医師からの指示に基づき対応しています。指示書の確認はできていない。	指示書の提出も今後は検討したい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	定期的に施設内の安全点検を行い、安全管理を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	来所時、降所時に連絡アプリを通して通知が行くようになってきました。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ファイルに記録し職員会議にて報告・検証しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止研修を内外で受けています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	同意書を作成し保護者に説明を行った上で同意を得ています。		